

国立研究開発法人海洋研究開発機構の評価に関する評価軸及び関連指標(案)

項目		評価軸	関連指標
III-1 海洋科学技術に関する基盤的研究開発の推進	(1) 地球環境の動態理解と変動予測のための研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。 ○得られた成果を国際社会、国等へ提供し、政策立案等へ貢献しているか。 ○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。 	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況 ・具体的な研究開発成果 ・国際社会、国等の政策への貢献状況 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況 <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文誌等への論文等掲載数 ・論文の質に関する指標(論文被引用数) ・共同研究件数
	(2) 地球変動帯で発生する地震及び火山活動の諸現象に関する研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。 ○得られた成果を国や関係機関に提供し、地震発生帶の長期評価や海域火山の活動評価等へ貢献しているか。 ○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。 	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況 ・具体的な研究開発成果 ・国等が行う地震発生帯の長期評価や海域火山の活動評価等への貢献状況 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況 <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文誌等への論文等掲載数 ・論文の質に関する指標(論文被引用数) ・共同研究件数
	(3) 海洋生態系の進化・動態・機能利活用に関する研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。 ○得られた成果を国際社会や産業界等へ提供し、新たなイノベーションの創出へ向けた取組への貢献 	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況 ・具体的な研究開発成果 ・成果の社会還元の状況 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況

項目	評価軸	関連指標
	<p>等が図られているか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>	<p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文誌等への論文等掲載数 ・論文の質に関する指標(論文被引用数) ・共同研究件数 ・知的財産権の出願・権利化・ライセンス供与件数 ・アウトリーチ数 <p>等</p>
(4) 海洋地球の物質科学と資源の持続的活用に資する研究開発	<p>○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。</p> <p>○得られた成果を社会へ発信し、社会課題解決へ向けた取組への貢献等が図られているか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況 ・具体的な研究開発成果 ・成果の社会還元の状況 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況 <p>等</p> <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文誌等への論文等掲載数 ・論文の質に関する指標(論文被引用数) ・共同研究件数 ・知的財産権の出願・権利化・ライセンス供与件数 <p>等</p>
(5) 海洋地球情報の高度化及び将来予測のためのデジタルツインに関する研究開発	<p>○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。</p> <p>○得られた成果を社会へ発信し、社会課題解決へ向けた取組への貢献等が図られているか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況 ・具体的な研究開発成果 ・成果の社会還元の状況 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況 <p>等</p> <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文誌等への論文等掲載数 ・論文の質に関する指標(論文被引用数) ・知的財産権の出願・権利化・ライセンス供与件数 <p>等</p>

	(6) 先端的な海洋エンジニアリング研究とシステム開発	<p>○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、日本の深海探査能力あるいは海洋調査能力を向上させる成果が得られているか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況 ・具体的な研究開発成果 ・多様な海洋環境に対応する探査・調査能力の獲得状況 ・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況 <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文誌等への論文等掲載数 ・共同研究件数 ・知的財産権の出願・権利化・ライセンス供与件数
III-2 新たな価値を実現する海洋科学技術の研究開発基盤の維持・強化	(1) 海洋研究プラットフォームの整備・運用・供用及び技術的向上	<p>○海洋研究プラットフォームの整備・運用・供用及び技術的向上を図ることにより、機構の研究開発成果の最大化が図られるとともに、我が国の海洋科学技術の水準向上及び学術研究の発展に貢献したか。</p>	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋研究プラットフォームの運用・供用状況 ・学術研究に係る船舶の運用状況とこれを通じた成果 <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船舶利用者数 ・所内利用における計画課題数(件)及び実績課題数(件) ・受託航海における計画課題数(件)及び実績課題数(件) ・共同(学術)利用における計画課題数(件)、実績課題数(件)及び研究成果発表数
	(2) 計算機システム等研究開発基盤の運用・と供用	<p>○研究開発基盤の供用やデータ・サンプルの利用拡大を図ることにより、我が国の海洋科学技術の水準向上及び学術研究の発展に貢献したか。</p> <p>○中長期目標・中長期計画等に基づき、情報基盤の整備・運用が効率的になされ、国内外の関係機関との連携が進展しているか。</p>	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発基盤の運用・供用状況とこれを通じた成果 ・研究データ・サンプル情報の提供及びその利活用の状況 ・情報基盤の効率的な運用による関係機関との情報連携の状況 <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球シミュレータ可用率(運用期間中の正常運転率) ・地球シミュレータ利用課題数(件)、登録成果数 ・情報基盤利用課題数(件) ・航海・潜航データ・サンプル探索システム公開データ数

III-3 研究開発成果の発信を通じた共創・循環システムの構築	(1) 普及広報活動の推進と未来を担う海洋科学人材の育成	○海洋科学技術における中核的機関として、国内外の関係機関との連携強化等を進め、普及広報活動の推進と海洋科学人材の育成が図られたか。	(評価指標) ・海洋科学技術分野における若手人材の育成や人材の裾野の拡大に向けた取組状況及びその成果 ・広報、アウトリーチ活動の取組状況等 (モニタリング指標) ・制作教材の利用実績数 ・広報、アウトリーチ活動における企画数等
	(2) 産学官との共創によるイノベーションへの貢献への貢献	○海洋科学技術における中核的機関として、国内外の関係機関との連携強化等を進め、産学官との共創によるイノベーションへの貢献が図られたか。	(評価指標) ・国内の産学官の研究機関との連携や知的財産等の利活用に向けた取組状況等 (モニタリング指標) ・特許出願件数、知的財産の保有件数、実施許諾件数 ・機構の成果を活用したベンチャー企業の件数 ・民間企業との協業件数、企業向けのシンポジウム・ワークショップ等の開催件数等
	(3) 海洋科学技術に関する政策・プロジェクトへの知見の提供	○海洋科学技術における中核的機関として、国内外の関係機関との連携強化等を進め、政策・プロジェクトへの知見の提供が図られたか。	(評価指標) ・海外の研究機関等との連携や国際的枠組みへの参画に向けた取組状況及びその成果 ・政策提案に向けた取組状況とその成果等 (モニタリング指標) ・海外機関との覚書の件数 ・学会等での投稿や発表の件数等

注)「評価指標」とは、評価・評定の基準として取り扱う指標。また、「モニタリング指標」とは、正確な事実を把握し適正・厳正な評価に資するために必要な指標。